

絵本とあっぷっぷ

りぷりんと・新宿 児童館で読み聞かせ



親子幼児のための薬王寺児童館「ひよこサークル」が12月10日にありました。その中でささえーるの読み聞かせ講座で学んだ「りぷりんと・新宿」の2人が、14組29人の親子に絵本の読み聞かせをしました。

持ち時間10分の中で、「いいおへんじ できるかな」「あっぷっぷ」「ぎゅうぎゅうぎゅう」の3冊をそれぞれ2分ずつかけて読みました。

「いいおへんじ できるかな」では、読み手の「できるかな？」との問いかけに、にしだるいちゃん(1歳4カ月)も手を上げて「はい」。お母さんによると毎回参加しており、「だるまさん」シリーズの絵本が大好きだそうです。



読み手の2人は幼児に読む場合、物語性よりも言葉のおもしろさや絵のデザインを重視するといいます。そして物語を聞き終わった子どもに「どうだった？」とは聞かないといいます。「なぜなら子どもは物語の世界に浸っているから」。

今回も「こどもたちは吸い込まれるように聞き入ってくれ、スポンジがスーと水を含むようでした」と2人はうれしそうに話してくれました。

(記事・写真＝横谷美子さん・松井寛見さん・伊藤ゆり子さん)